

臨床研究に関する情報公開（一般患者様向け）

「ハイドロゲルスペーサーと金マーカーを用いた前立腺がんに対する Non-IMRT 放射線治療の有益性についての研究」へご協力をお願い

—2020 年 2 月から 2023 年 5 月までに当院において、ハイドロゲルスペーサーと金マーカー挿入下で前立腺がん根治照射放射線治療を受けられた患者様及びご家族様へ—

研究責任（申請）者：金森美佳 桑名市総合医療センター 放射線室
共同研究者：高田彰憲 三重大学医学部附属病院 放射線科

1. 研究の概要

前立腺がんへの外部照射においては、投与線量と PSA 制御率に正の相関が認められており、70Gy を超える高線量投与が必要とされています。しかし、前立腺近傍には、リスク臓器である直腸が存在しています。そのため、直腸線量が前立腺への処方線量の上限を制約することになっています。そこで、当院では、ハイドロゲルスペーサーと金マーカーを留置して直腸線量を低下させることを可能にし、74Gy の線量処方での 3 DCRT を行ってきました。現在までの経過観察において、この治療方法が有益な結果をもたらしていると考えられるため、これまでの治療記録・画像などをもとに、解析・研究を行うこととしました。

2. 研究の方法

（1）研究対象者

2020 年 2 月から 2023 年 5 月までに当院において、ハイドロゲルスペーサーと金マーカー挿入下で前立腺がん根治照射放射線治療を受けられた患者様

（2）研究期間

許可日～2023 年 12 月 2 日

（3）研究方法

該当する患者様の治療時期の CBCT(位置照合画像)と計画 CT 画像、金マーカー・ハイドロゲルスペーサー留置後に撮像した MRI 画像から、骨照合からの座標誤差等の解析や、線量分布の再考を行います。

（４）使用する情報の項目

診断名、病期、年齢、身長、体重、血液検査、画像検査、放射線治療線量分布画像、予後など。

（５）情報の保護

研究対象者の個人情報は匿名化を行い、個人の識別ができない措置をとります。

（６）利益相反

利益相反はありません。

以上の内容をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者であると思われる方、また、そのご家族様の中で、ご質問のある場合や、この研究に自分の情報を使ってほしくないと思われる方がいらっしゃいましたら、下記の担当者までご連絡ください。

<問い合わせ先>

〒511-0061 三重県桑名市寿町 3-11

TEL：0594-22-1211

桑名市総合医療センター 放射線室

担当者：金森美佳